

チェロ
ドミトリー・フエイギン

ピアノ
松本和将

ヴァイオリン
中村洋乃理

ヴァイオリン
守屋剛志

ヴァイオリン
黒川侑

コントラバス
河本直樹

倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.2

倉敷にゆかりのあるプレイヤーによる室内楽コンサート

室内楽コンサート

【第1部】ラフマニノフ：チェロソナタ短調
ラフマニノフ：悲しみの三重奏曲第1番
【第2部】シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」

2017

3/18 SAT

倉敷市芸文館ホール

■ 倉敷市中央1-18-1 ■ TEL.086-434-0400

【開場】13:30 【開演】14:00

全席指定 一般 **2,000円** 大学生以下 **1,000円**
※当日券は各500円増 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

会員先行発売 12月13日(火) / 一般発売 12月15日(木)

アルスクらしきチケットセンター
086-434-0010

インターネット予約 <http://arsk.jp/>
携帯URL <http://arsk.jp/m/>



【岡山】ぎんざやTEL.086-222-3244 / 岡山シンフォニーホールチケットセンターTEL.086-234-2010 / 岡山県音楽文化協会TEL.086-224-6066
【倉敷】倉敷市芸文館TEL.086-434-0400 / インディスク(天満屋倉敷店4F)TEL.086-422-1457
【その他】電子チケットびあTEL.0570-02-9999(Pコード314-310) <http://t.pia.jp/>

【主催】倉敷市・山陽新聞社・倉敷市文化振興財団 【共催】倉敷市教育委員会 【協賛】公益財団法人JFE21世紀財団



Kazumasa
Matsumoto

ピアノ
松本和将

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位など、国内外のコンクールで上位入賞。1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。併せて増沢賞はじめ、全賞を受賞。2001年ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、2003年エリーザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。

これまでにブラハ交響楽団、ブラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2010年より上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島を始めとする6都市で全国ツアーを行う。ソロでは2009年から3年連続のオールショパンプログラム全国ツアーを行う。これまでにレコード芸術の特選盤を含む17枚のCDをリリース。

東京芸術大学非常勤講師(2008~2012)、くらしき作陽大学特任准教授として、後進の指導にもあたっている。

公式HP: <http://www.kaz-matsumoto.com>

公式ブログ: <http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>



Tsuyoshi
Moriya

ヴァイオリン
守屋剛志

倉敷市真備町出身、ベルリン在住。ローム・ミュージックファンデーションより助成を受け、東京芸大院、国立ベルリン音楽大学卒業。ヴァイオリンを小山洋治、田淵洋子、相山久美、浦川宜也、G.ブルー、S.ピカールの各氏に、室内楽を岡山潔、山崎伸子、O.ヴァレ、E.フェルツの各氏に師事し、(株)日本ヴァイオリンより名器特別貸与者としてカールス・トノーニ(1725)を貸与され、青山音楽賞新人賞、岡山芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞、エネルギー音楽賞、マルセン音楽賞受賞。松尾学術財団の支援を受け、14年クアルテット・ベルリン・トウキョウ(札幌・六花亭レジデンス)でオランダのオランダ国際室内楽コンクールにて優勝、阿姆斯特ダムコンセントヘボウにデビュー。15年フランス・シューベルトと現代音楽国際コンクール(オーストリア)第3位。カール・ニールセン国際室内楽コンクール(デンマーク)第2位、併せてカール・ニールセン賞を受賞。日欧の音楽祭に出演し、エクサン・プロヴァンス音楽祭からはHSBC賞2015を授与されている。



Yu
Kurokawa

ヴァイオリン
黒川 侑

2001年第55回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国大会第1位。02年第10回クオスター・センタール国際ヴァイオリンコンクール第2位、最優秀バッハ賞。06年第75回日本音楽コンクール第1位。岩谷賞(聴衆賞)他4つの特別賞を受賞。15年第34回ドルフォ・リビツァー国際ヴァイオリンコンクールにて最も芸術性の高い演奏者に贈られるAnna Picuulin特別賞、16年第6回仙台国際音楽コンクールにて聴衆賞を受賞。

これまでにリサイタル、国内外の著名なオーケストラとの共演など多くの演奏会に出演。14年にはスイス・ロマン管弦楽団と、16年7月にはスペイン国立管弦楽団との共演を果たした。小島秀夫、工藤千博、P.ヴェルニコフ、漆原啓子、堀米ゆず子、藤原浜雄、S.ルセフの各氏に師事。現在、桐朋学園大学院大学に特待生として籍を置いて研鑽を積みながら、着実に演奏活動を続けている。

倉敷市芸術文化奨励章、第3回岡山芸術文化賞グランプリ、京都府文化賞奨励賞、京都市芸術新人賞、第23回出光音楽賞受賞。



Kironori
Nakamura

ヴァイオリン
中村洋乃理

岡山県生まれ。愛知県立芸術大学を経て、東京藝術大学大学院研究科修士課程修了。第8回日本演奏家コンクール最高位受賞。「文化庁舞台芸術フェスティバル・日韓の若い音楽家によるオーケストラ特別演奏会」の日本、韓国公演に首席奏者として参加。プレールカルテットのメンバーとしても活動。2011年国際音楽祭「ヤング・ブラハ」に招かれ、ヤング・ブラハ・フェスティバル・カルテットとしてチェコ各地にて演奏。2007年から2014年まで東京フィルハーモニー交響楽団フォアシュペーラーを務めた。2015年2月NHK交響楽団入団。現在、次席奏者。これまでにヴァイオリンを江島幹雄、百武由紀、川崎和憲の各氏に師事。



Dmitry
Feygin

チェロ
ドミトリー・
フェイギン

モスクワ生まれ。父は有名なチェリストのヴァレンティン・フェイギン、母は有名なチェロ教師ガリーナ・ズーヴァレヴァ。モスクワ音楽院中央付属音楽学校で英才教育を受け、その後、モスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。

モスクワ音楽院在学中、1991年にモスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ(現ボリショイ劇場常任)指揮により、チャイコフスキー作曲「ロココのテーマによる変奏曲」でデビューする。今までにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、日本のヴィヴァ・チェロコンクールなど数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールではショスタコヴィッチ夫人から特別にソナタ賞を授与される。95年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院付属音楽学校で教える。

2003年に来日、現在、東京音楽大学教授。日本とロシア中心にソロ室内楽で活動する。近年では、モスクワ・韓国・日本において国際チェロコンクールの審査員も務める。



Naoki
Komoto

コントラバス
河本直樹

岡山市出身。12歳よりコントラバスを始める。岡山県立城東高校普通科音楽系、くらしき作陽大学音楽学部音楽学科を経て、ベルリン芸術大学を卒業、ディプロムを取得。くらしき作陽大学在学時、コントラバス専攻者として初めて特待生に選ばれる。2006年アジアユースオーケストラにて副主席として中国・香港・台湾・日本のアジアツアーで演奏。オーバースドルフ国際音楽祭(ドイツ)にてギュンター・クラウスのマスターコースを受講。氏に推薦され、修了演奏会で演奏。

ハンブルク交響楽団(ドイツ)研修生を経て、2011年よりハンブルク・カメラータに所属。コントラバスを黒岩工、渡辺彰考、青江宏明、故・奥田一夫、文屋充徳、ギュンター・クラウス、ミハエル・ヴォルフ、室内楽を守屋美枝子、各氏に師事。

2012年2月帰国。以後、読売日本交響楽団、京都市交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、広島交響楽団、神戸室内合奏団など様々なオーケストラに客演している。現在はソロ、室内楽、オーケストラ、後進の指導などにも力をいれ、幅広く活動を行なっている。アンサンブル・セフィロ コアメンバー。